

6 産業労働企業委員会における村岡正嗣県議の質疑

2017年7月3日

◆付託議案に対する質疑

Q. 村岡委員

この事業は、最後まで面倒を見るのではなく、途中までのつなぎを県がやるというように聞こえるが、県がやる意義はどこにあるのか。

A. 就業支援課長

通常、プロフェッショナル人材と民間企業がマッチングする場合は、当然、民間の人材紹介会社1社と相対で行うことが考えられる。今回、このようなスキームで県が複数の事業者を登録していることで、より多くの事業者によるマッチングの場が得られることになるので、人材を探しやすくなるというメリットが1つある。もう1つは、県が人材事業者を登録する形を採るので、中小企業の側にも県の信用力により、信用していただけることで、ハードルが下がると考える。そういう点が、県がやるメリットと考えている。